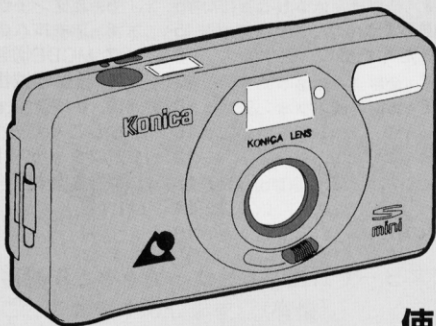
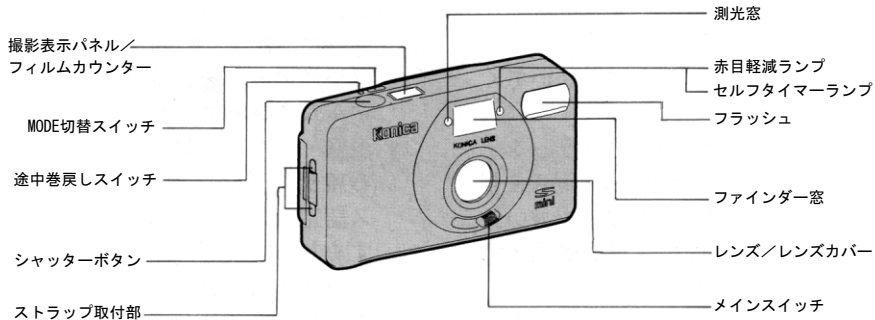
Konica S mini

ご使用前に必ず、
お読みください。

使用説明書

各部の名称

撮影表示パネル／フィルムカウンター
MODE切替スイッチ
途中巻戻しスイッチ
シャッターボタン
ストラップ取付部
測光窓
赤目軽減ランプ
セルフタイマーランプ
フラッシュ
ファインダー窓
レンズ／レンズカバー
メインスイッチ

ストラップの取付け方

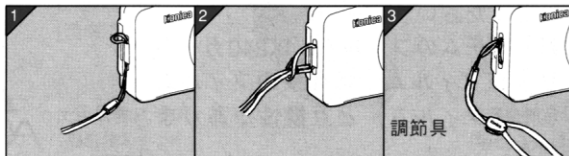
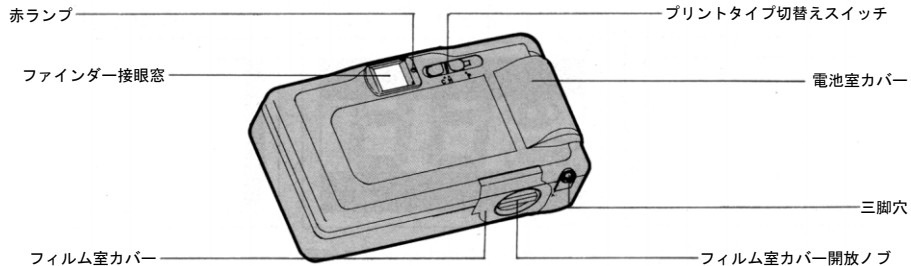
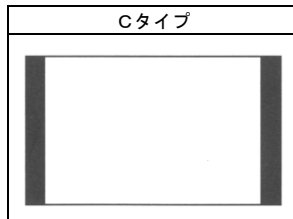
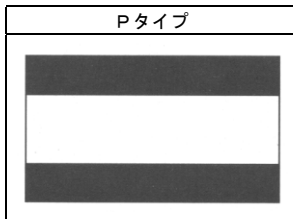
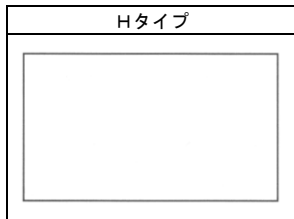
＊ 調節具の突起部は途中巻き戻しスイッチを押すときに使用してください。

赤ランプ
ファインダー接眼窓
フィルム室カバー
プリントタイプ切替えスイッチ
電池室カバー
三脚穴
フィルム室カバー開放ノブ

ファインダー表示

Hタイプ

Pタイプ

Cタイプ

プリントタイプ切替スイッチにより３タイプのファインダー表示がされます。

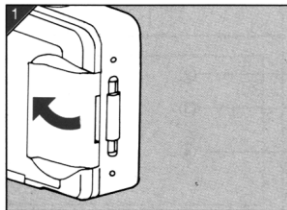
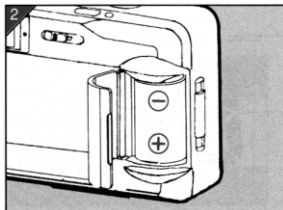
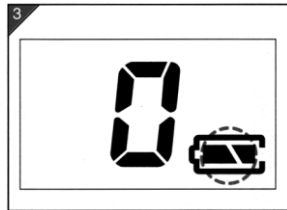
＊ 図の青い部分の内側が写る範囲です。

撮影表示パネル　図は全ての液晶を点灯状態で示してあります。

①：フィルムカウンター
②：セルフタイマー撮影表示マーク
③：赤目軽減撮影表示マーク
④：電池マーク

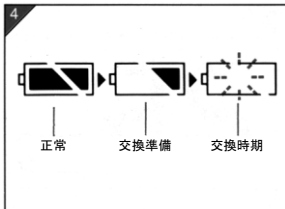
液晶について

このカメラは撮影表示パネルに液晶を使用しています。液晶は高温のところでは表示が黒くなり、低温のところでは応答速度が遅くなることがありますが、いずれも常温になれば正常に戻ります。

1．電池の入れ方

電池室カバーの溝にコインなどを差し込み、カバーを開けます。

電池の ⊕、⊖を電池室内側の表示に合わせて正しく入れ、電池室カバーを閉じます。

撮影表示パネルの電池マークが黒く点灯していれば、電池の容量はOKです。

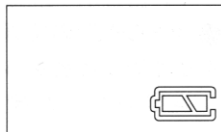
リチウム電池
(CR2:3V)

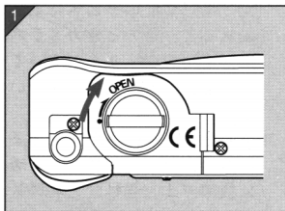
⚠警告 電池を火の中に入れたり、ショート、分解、加熱、充電をしないでください。爆発して大けがの危険があります。

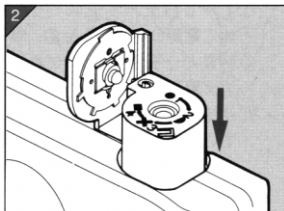
⚠警告 電池は乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと死亡する危険があります。

電池はリチウム電池(CR2:3V)1本です。

* 撮影の途中で電池マークが2/3白くなったら、最後まで撮影した後電池を交換してください。
* 長期間の旅行などには、予備の電池を用意しておくことをおすすめします。
* 連続してフラッシュ撮影をすると電池容量が少ない表示になることがありますが、しばらく待ってから再度メインスイッチを入れて電源ONにしたとき、電池の容量が十分な表示になればそのまま撮影できます。
* 寒冷地では電池の性能が低下しますのでカメラを保温しながらご使用ください。まれに電池の容量が十分でも電池の容量がない表示になることがあります。このときは再度シャッターボタンを押してください。

電池交換をするときのご注意

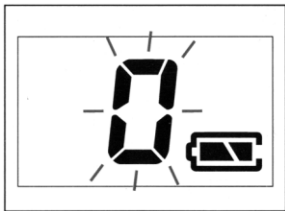
1) 電池マークが全部白くなるとシャッターがロックされます。フィルムが入っているときは電池を手ばやく(20秒以内に)入れ替えてください。
2) 電池を取り外して20秒以上たつと液晶表示が全て消灯します。全て消灯しているときに電池を入れると、そのときカメラ内に撮影途中のフィルムが入っていると自動的に巻き戻しを行います。
3) 電池交換直後も電源ONにすると電池マークが全部白くなる場合は故障です。当社サービスステーションにお持ちください。

2．フィルムの入れ方

＊1×240カートリッジフィルムをご使用ください。

フィルム室カバー開放ノブの●印をOPENの位置まで回すとカチッと音がしてフィルム室カバーが開きます。

＊ フィルム室カバー開放ノブはカチッという音がして止まります。

カートリッジ(フィルムの容器)を使用状態マーク面の反対側から入れて、フィルム室カバーを閉め、ノブをカチッというまで確実に閉じてください。自動的にフィルムを送り始めます。

⃠ カートリッジは逆向きなどで無理な力で入れないでください。

フィルムを送り始めると、電池マークおよび規定撮影枚数が撮影表示パネルに表示されます。

＊ フィルムカウンターは残りの撮影できる枚数(規定撮影枚数)を表示しています。

フィルムが送られなかったときは撮影表示パネルに 0 が点滅します。

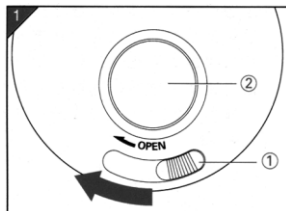
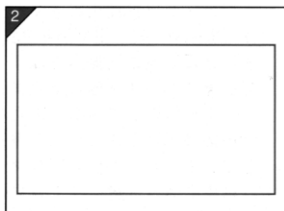
＊ このカメラでは未使用のフィルムの使用状態マーク(●)は撮影済み(✖)の表示になり、再使用はできなくなります。

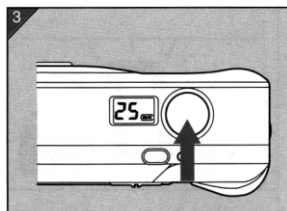
＊ このカメラでは使用状態マークが撮影途中(◗)、撮影済み(✖)または現像済み(■)を表示しているフィルムは使用できません。これらのフィルムを入れると撮影表示パネルには0が点滅して、フィルムの使用状態マークは撮影済み(✖)または現像済み(■)の表示になります。

⃠ 巻き戻しが完了した場合とフィルムが送られなかった場合以外でフィルムがカメラに入っているときにフィルム室カバーを無理に開けないでください。カメラとフィルムの双方が破壊されフィルムの撮影した内容は失われます。

＊ 低温時にフィルムの巻き戻しが途中で止まったとき(止まった所の枚数で点滅します。)は、常温で電池交換後に途中巻き戻しの操作を行ってください。

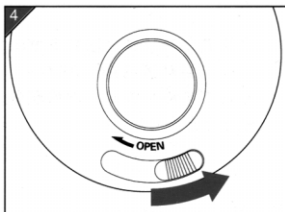
3． 撮影方法(一般撮影)

＊すべての撮影に共通する基本撮影の手順をＨタイプの撮影画面で説明します。

メインスイッチ①を矢印の方向に突き当たるまでスライドさせるとレンズカバー②が開き、レンズが繰り出され電源ONになります。この時フィルムカウンターが表示されます。

ファインダーをのぞいて被写体をフレーム内に入れ、写る範囲を確認してください。

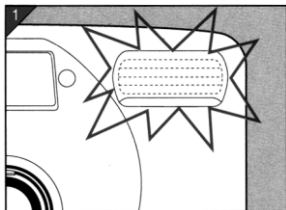
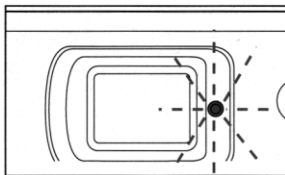
＊ 図の青い部分の内側が写る範囲です。

シャッターボタンを静かに押し込み、シャッターをきってください。

＊ シャッターをきって撮影が終わるとフィルムが１コマ自動的に送られ、フィルムカウンターの数字が１つ減算されます。

撮影距離：0.9m ～ ∞

メインスイッチを矢印の方向にスライドさせてください。電源OFFとなりレンズが収納され、レンズカバーが閉まります。

⃠ レンズカバーを無理に開閉しようとしたり、レンズカバーに力を加えたまま電源ON、OFFをしないでください。故障の原因となります。

* 前面のレンズが汚れていたら軟らかい乾いた布で軽く拭きとってください。

4．自動フラッシュ撮影

暗いところでシャッターをきると自動的にフラッシュが発光します。

＊ 充電中(赤ランプ点灯)はシャッターロックがかかります。

＊ 人物のフラッシュ撮影をするときは赤目軽減撮影をおすすめします。赤目現象が軽減できます。

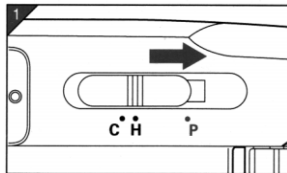
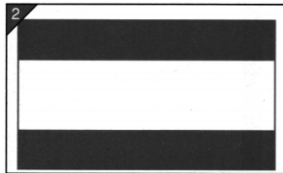
フラッシュ撮影の距離

(ネガカラーフィルム使用の場合)

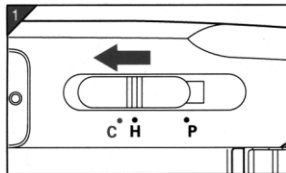
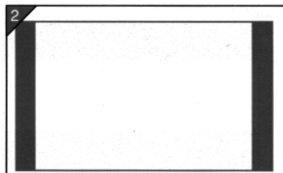
フィルム感度	撮影距離
ISO 200	0.9m〜3.2m
ISO 400	0.9m〜4.6 m

5．プリントタイプ切替え撮影

＊１本のフィルムの途中で３種類のプリントタイプの切替えができます。

Ｐタイプの場合

プリントタイプ切替えスイッチを右方に動かしてＰ印に合わせてください。ファインダー内にＰタイプ撮影範囲フレームが表示されます。

Ｐタイプ撮影範囲フレーム内で構図を決め、撮影してください。

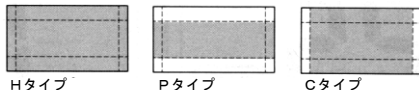
＊ 図の青い部分の内側が写る範囲です。

Cタイプの場合

プリントタイプ切替えスイッチを左方に動かしてC印に合わせてください。ファインダー内にCタイプ撮影範囲フレームが表示されます。

Cタイプ撮影範囲フレーム内で構図を決め、撮影してください。

＊ 図の青い部分の内側が写る範囲です。

プリントタイプの切替えについて

このカメラはHタイプ、Pタイプ、およびCタイプの３種類のプリントタイプを、フィルムの途中で切替えることができます。選択したプリントタイプは撮影時にフィルム上に記録されます。その際、フィルム上には常にHタイプの画面の範囲が写し込まれます。H・P・Cタイプのそれぞれのプリントは写し込まれた画面の引伸し範囲、縦横比および拡大率をプリント時に切替えたものです。
（ネガカラーフィルム使用の場合）

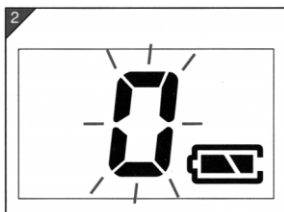
＊ Hタイプの縦方向と横方向、Pタイプの横方向およびCタイプの縦方向の引伸し範囲は写し込まれた画面より若干小さくなります。

写し込み画面上の引伸し範囲

	縦：横
Hタイプ	9：16
Pタイプ	1：3
Cタイプ	2：3

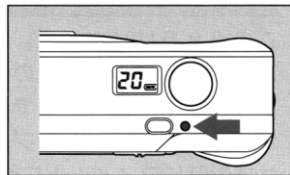
各プリントタイプの標準的縦横比

6．フィルムの取り出し方

フィルムの規定撮影枚数の撮影が終わると、自動的に、巻き戻しが始まります。

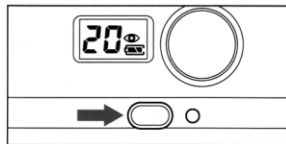
＊ フィルムカウンターは巻き戻しに連動して、撮影した枚数から数字を減算します。

巻き戻しが完了すると自動的に停止します。撮影表示パネルの 0 の点滅を確認した後、フィルム室カバーを開けてカートリッジを取り出してください。

＊ 写し終わったフィルムは、お早めに新システムの現像プリントサービス認定店にお持ちになることをおすすめします。

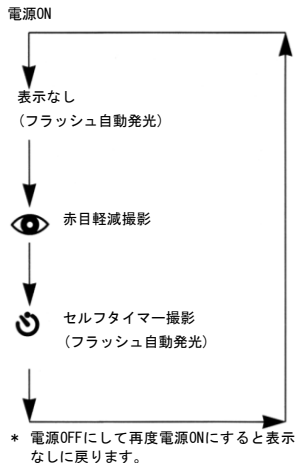
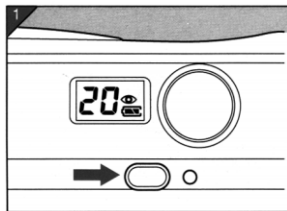
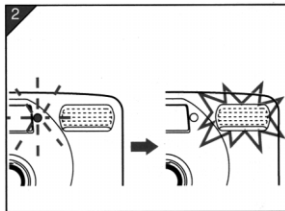
途中巻き戻しの方法

途中巻き戻し（R）スイッチをストラップ調節具の突起部で押すと撮影途中のフィルムの巻き戻しができます。

＊ 巻き戻し後の手順は、自動巻き戻しの場合と同じです。

＊ このカメラは途中巻き戻しをしたフィルムの再使用はできません。ご注意ください。

７．MODE切替スイッチの操作

MODE切替スイッチを押すごとに撮影表示パネル上の各撮影モードのマークを順次表示して循環します。

＊ 一度設定した赤目軽減撮影モードは固定され、そのまま撮影が続けられますが、セルフタイマー撮影モードは１回の撮影ごとに解除されます。

＊ 電源OFFにして再度電源ONにすると表示なしに戻ります。

8．赤目軽減撮影

MODE切替スイッチを押して撮影表示パネルに ◉ を表示させます。

人物に向けてシャッターをきると撮影直前に赤目軽減ランプが点灯した後、フラッシュが発光して撮影が終わります。

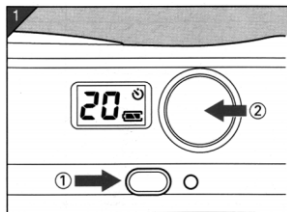
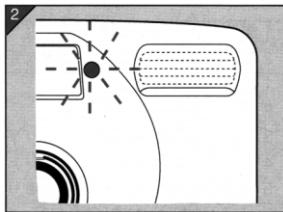
＊ 赤目軽減ランプが点灯してからフラッシュ発光までは約1秒かかります。カメラを動かしたり撮影される人物が動かないようにご注意ください。

赤目現象とは・・・

暗い場所で人物のフラッシュ撮影をしたときに、フラッシュ光が目の網膜に反射して、目が赤く輝いて写ることがあります。これを赤目現象といいます。

効果的な被写体

暗い場所での人物のフラッシュ撮影。
（赤目軽減ランプで瞳孔を小さくした上でフラッシュが発光するので、赤目現象を軽減します。）

9．セルフタイマー撮影

MODE切替スイッチ①を押して撮影表示パネルに ⏲ を表示させます。シャッターボタン②を押すとセルフタイマーがスタートします。

セルフタイマーのスタートから約10秒後にシャッターがきれます。

＊ スタートと同時にセルフタイマーランプが点灯し、撮影の約３秒前から点滅に切替わります。

＊ 三脚を使用してください。

＊ スタートはカメラの後ろ側から行ってください。前側からでは正しい露出が得られません。

＊ 作動中にキャンセルしたいときはメインスイッチをスライドさせレンズカバーを閉めて、電源をOFFにしてください。

おもな仕様

＊下記の性能については、当社試験条件によります。
＊製品の仕様、外観については、予告なく変更することがあります。

形式	：IX240レンズシャッター式フラッシュ内蔵カメラ
画面サイズ	：16.7×30.2mm
レンズ	：コニカレンズf＝25mm F6.7(3群3枚)レンズカバー付
パワースイッチ	：メインスイッチを手動開閉、電源ONでレンズカバーが開き鏡胴が繰り出す、電池容量の残量を撮影表示パネルに表示、電源OFFで鏡胴を収納しレンズカバーが閉まる
シャッター	：絞り兼用プランジャーシャッター
焦点調節	：固定焦点　撮影範囲・0.9m～∞
露出連動範囲	：ISO 400フィルム使用時　EV10 (F6.7 1/80)～EV12 (F6.7 1/300)
フィルム感度	：自動設定ISO100/200/400
ファインダー	：逆ガリレオ式ファインダー、プリントタイプ切替え対応
フラッシュ	：手ぶれ限界の低輝度時に自動発光するフラッシュ機構、連動範囲・（ISO 400）0.9m～4.6m、発光間隔・約6秒、充電中・赤ランプ点灯表示
プリントタイプ	：プリントタイプ切替えスイッチによりファインダー内のフレームをHタイプ、Pタイプ、Cタイプの3種類に切替え、フィルム途中の切替え可能、プリントタイプは撮影時にフィルムに自動的に光学記録

モード切替え	：赤目軽減撮影、セルフタイマー撮影
セルフタイマー	：電子式、作動時間・約10秒、セルフタイマーランプが約7秒間点灯した後、約3秒間点滅、途中解除可能
フィルム給送	：電動式、フィルム室カバーを閉じるとスタートするワンタッチオートローディング、自動巻き上げ、フィルムの規定撮影枚数終了で自動巻き戻し、巻き戻し後自動停止、途中巻き戻し可能、カートリッジ途中交換機能なし
フィルムカウンター	：逆算式、撮影表示パネルに表示
使用温度範囲	：－10℃～50℃
電池寿命	：50％フラッシュ発光のとき約12本（25枚撮りフィルム）
電源	：リチウム電池（CR2・3V）1本
大きさ	：103×58×30mm
質量（重さ）	：136g（電池別）